平成27年10月7日

文部科学大臣殿

別府溝部学園短期大学 学長 溝部仁 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	別府溝部学園短期	 大学	②所在地:	874-8	567 大分	分 県別府市大字	野田78番地	
③課程名:	別府溝部学園短期大学 食物栄養学科 温泉コンシェルジュコー		④正規課程/履修 証明プログラム:	履修訂	E明プロ・	グラム	⑤開設年月日:	平成28年 10月1日
⑥責任者:	食物栄養学科長	牧 昌生	⑦定員:	20名			⑧期間:	6ヶ月
⑨申請する課程 の目的・概要:	サービスを提供する「総合世話係」の中でも、顧客が最も頼りとする「究極のパーソナルサービス」を提供する職業がコンシェルジュである。これに対して、「温泉コンシェルジュ」は、温泉をベースとした観光と最高の癒やしを提供するプログラム、及び、その総合的なおもてなしを提供する人材を指す。 そのために、「温泉コンシェルジュ」は、温泉の効果・効能や関連する各種法律等に関する知識等を踏まえ、総合的・個別的な温泉プログラムを提供する資質・能力の育成、職場や他のコンシェルジュとネットワークを構築することができるコミュニケーション力を育成することが求められている。よって、社会人の職業能力の向上及び温泉観光地等の雇用機会の創出を目的とする。							
⑩4テーマへの 該当の有無	 ・女性活躍 ・非正規労働者のキャリアアップ ・地方創生(地域活性化) 学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる者							
⑫対象とする職 業の種類:	サービス業、ホテル・旅館業、観光業							
③身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 温泉の知識、顧客のニーズに合ったツアープランの提供、接客 技術							
⑭教育課程:	応用課程では、「療養」や「美容」についての学びを深めるため、「温泉医療療養指導」や「健康トレーニング」で、実際の医療関係者などから温泉が身体にもたらす効力や、温泉を活用したトレーニング方法などを学ぶ。同時に、観光地では要となる「観光コンテンツ」を学ぶため、「温泉の基礎」「温泉コンシェルジュ実習 I 」「温泉コンシェルジュ実習 II 」を通し、地域のまちづくり団体や観光団体による観光サービスなどを体験しすることにより、顧客へ提供できる観光コンテンツの提案力を身に付ける。							
⑤修了要件(修 了授業時数等):	温泉コンシェルジュ応用課程5科目合計120時間以上および各科目4/5以上出席した後、課題に合格							
⑩修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書(温泉コンシェルジュ応用課程 修了書)							
①総授業時数:	10 単位	18要件該当授業時数:	10単位	該当 要件	1,2,4	⑨要件該当授業 /総授業時数		100%
⑩成績評価の方法:	最終課題(レポート60%)、プレゼンテーション(40%)							
②自己点検・評 価の方法:	・受講者による評価項目および評価規準の回答 ・授業担当者および連携企業による評価 上記の評価結果については、自己点検評価委員会にて自己点検評価を行い、その結果をホーム ページで公表する。							
②修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	・本課程修了後の就職および活動状況確認(本人および雇用者からの回答) ・本課程修了後のアンケート調査(現場でどのように本課程での学びが活かされているか 等) ※毎年6月実施予定							
②企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成) 中央委員会にて温泉コンシェルジュの育成方針について協議し、その方針のもと、カリキュラム委員会において関係企業や団体等の意見を収集し、教育課程の編成を行う。 (自己点検・評価) 自己点検評価委員会にて、修了者の就職状況や就業先での学習成果等の点検によりPDCAサイクルを回す過程において、カリキュラム委員会の中で教育課程の見直しを行う。							
倒社会人の受講 しやすい工夫:	週末の講義、長期	週末の講義、長期休暇期間における集中講義、社会人受講料減免制度						
②ホームページ:	(URL)http://www	.mizobe.ac.jp/o	nsen_concier	ge/inde	ex.html			

事務担当者名:	赤木	所属部署:	別府溝部学園短期大学 食物栄養学科 温泉コンシェルジュコース				
連絡先:	(電話番号)0977-76-5508 / 0977-67-7974(内線204) (E-mail)makaki@bm.mizobe.ac.jp						

^{*}パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。